

取扱説明書

T-fal

ティファール
ザ・ポップ マイコン式炊飯器

製品番号 RK535*



● お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。
- 取扱説明書内のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合がございます。

キリン線

Ref no. 3206003764/01

SERIE R82-2

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

※ 商品により部品としての取り扱いのない場合がございます。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のお願い	9
NFC機能	11
各部の名称	12
スリープモード	15
操作音を消す	15

使い方

炊飯プログラムについて	16
ご飯を炊く	17
「煮込み」プログラムについて	22
予約して炊飯する	24
「保温」プログラムについて	26
使用後のお手入れ	28

その他

こんなときは	31
製品仕様	33
アンケートのお願い	34

- 調理をする際の熱源はすべて製品に含まれています。
- 本製品は低電圧指令、電磁環境適合性、消費者庁等の基準と規定に準じています。
- 異常な使用感のある、または破損している釜は保証適用外です。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いいただく方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

● 本製品は家庭用です。業務用または一般家庭以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。

絵表示の例



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が表記されています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。



警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

電源・電源コード



電源は、一般家庭用100V、50/60Hzを使用する

間違った電圧への接続は、製品に損害を与える可能性があり、保証は無効となります。



海外など、異なる電源電圧の地域で使用しない

当製品は日本国内専用です。

禁止

ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。電源コードを束ねたまま使用しない

発火、故障の原因になります。

安全上のご注意 (続き)



指示

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

差し込みが十分でない場合、感電・発熱による火災の原因になります。

使用中、電源プラグ／電源コード、本体が異常に熱くなったり、通電したりしなかったりするときは、ただちに使用を中止する

そのまま使うと、ショートや発火のおそれがあります。弊社修理センターまでご相談ください。



禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

電源コードが破損した場合は、修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理、改造しないでください。また、他の製品の電源コードを代用しないでください。

電源コードが傷んでいたたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

そのまま使うと、感電、ショートや発火のおそれがあります。

電源コードに液体をこぼさない

お取り扱いについて



分解

禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しない
発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。

- 修理は弊社修理センターにご相談ください。



指示

本製品で子供が遊ばないように十分に注意する

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

調理後に外ぶたを開けるときは、蒸気が手や顔などにかからないように注意する

蒸気に触れるとやけどをするおそれがあります。



禁止

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

本製品や電源コードおよび電源プラグを水につけたり、水に濡らしたりしない

ショート・感電のおそれがあります。

付属品以外の部品を使用しない

思わぬ事故の原因になります。

釜を電子レンジ、オーブンに入れて使用したり、本製品以外の熱源で加熱しない

破損・けがのおそれがあります。



指示

使用時は必ず内ぶたを外ぶたの裏側に取り付ける

やけどや誤作動、故障の原因になります。

身体的、知覚的、精神的に障害がある者や製品の知識や経験のない者（子供を含む）は、以下の場合のみ使用する

- 監督者がいる場合
 - 製品の安全な使い方を教わり、使用にともなう危険性を理解している場合
- やけど・感電・けがをするおそれがあります。



禁止

本製品を外部タイマーやリモートコントロールシステムを使用して操作しない

思わぬ事故の原因になります。

安全上のご注意 (続き)



禁止

本製品を加熱されたオーブンや熱いコンロの上に置いたり、直火または可燃物の近くに置かない

火災の原因になります。

取扱説明書に記載以外の調理法はしない

中身が噴出したり、やけどやけがをするおそれがあります。安全のため、製品同梱の取扱説明書等に従って調理を行ってください。

調理中および調理直後に、蒸気口や蒸気、外ぶたに手を触れたり、顔を近づけない

調理中および調理直後は蒸気口から熱い蒸気が出ますので、やけどをするおそれがあります。



指示

製品に  マークがある箇所は、使用中に高温になるので、やけどに注意する

外ぶたは「カチッ」と音がするまで確実に閉める



禁止

持ち運ぶときはプッシュボタンに触れない

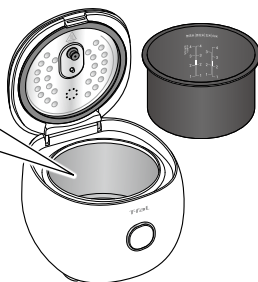
外ぶたが開き、やけどの原因になります。

食材を入れたポリ袋をジャー炊飯器に入れて調理しない

蒸気口がポリ袋でふさがれて中身が噴出し、やけどやけがをするおそれがあります。

使用前に製品内の緩衝材をすべて外してください。

お釜を取り外し、本体内部にも緩衝材が残っていないことを確認してからご使用ください。



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性および物的損害が想定される内容です。

電源・電源コード



コンセント
からはずす

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指示

電源プラグがコンセントに接続されているときは、電源コードをひっかけないよう気をつける

本体が落下し、やけど、けがをするおそれがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電したりショートしたりして、発火するおそれがあります。

本製品に表示されている電源電圧が、コンセントの電圧と同じであることを確認する

誤った接続による故障・事故などは、保証の適用外となりますのでご注意ください。



禁止

電源コードが損傷しているときは、本製品を使用しない

感電や火災の原因になります。電源コードの買い換えは、部品注文センターにご相談ください。

本製品の高温部分に電源コードを近づけたり、接触させない
電源コードが熱で溶けるおそれがあります。

お取り扱いについて



指示

使用中や使用後は高温になるので、外ぶたを開けるときは注意する

蒸気でやけどをするおそれがあります。

必要に応じてミトンを着用してください。

安全上のご注意 (続き)



禁止

付属品以外の釜をセットして使用しない

ご飯粒など異物を以下の場所につけたまま使わない

- ・センサー ・加熱プレート・パッキング
- ・本体と外ぶたの間 ・蒸気口の周囲

衝撃により損傷がある場合や、外観に損傷があり、正しく動作しない場合は、本製品を使用しない
火災などの原因になります。

→ 修理は弊社修理センターにご相談ください。

長時間の予約はしない

特に夏場での長時間の予約はやめてください。

調理後のお手入れの際に本体を水につけない

故障の原因となります。

調理後しばらくは加熱プレートや内ぶたなどに触れない

調理後の加熱プレートや内ぶたなどは高温になっており、やけどをするおそれがあります。



指示

パッキングは破損しないように注意して取り扱う

お手入れは、本体を十分に冷ました後におこなう

高温部に触れると、やけどをするおそれがあります。

耐熱性のある平らで安定した場所、水や火気から離れた場所
所で使用する

次の場所では使用しないでください。

- テーブルや調理台の端 ● スライド式テーブルの上
- 不安定な場所や可燃物の近く
- 畳、じゅうたん、テーブルクロス、プラスチックの置き台などの上
- 食器収納棚の下 ● 他の電気製品などの上
- 落下や故障、火災の原因になります。
- 壁、家具、カーテンの近く
- 蒸気や熱で変色、変形の原因になります。
- 本体の底面の放熱口をふさぐような布の上

使用上のお願い

- 本製品は、必ず屋内で使用してください。
- 必ず本製品用の付属品を使用してください。
- 空炊きをしないでください。
- 釜を他の熱源にかけないでください。
- コーティングは食品衛生法の規格に適合しています。長期間の使用により、万一傷がつき、コーティングがはがれて体内に入っても、自然に排出されますのでご安心ください。
- 調理以外の目的にはご使用にならないでください。
- 本製品は消毒器ではありません。瓶を消毒するためには使用しないでください。
- 釜を使用せず本体に直接具材を入れないでください。
- 釜や熱くなる部品は常に清潔に保ってください。また、加熱プレート中央の温度センサーは可動する状態を保ってください。
- 使用後は、すぐに釜を洗ってください。
- お手入れするときは、本体を湿らせたふきんで拭いてください。釜は、やわらかいスポンジで洗い、ナイロンたわしで洗ったりこすったりしないでください。パッキング、つまみ、炊飯用カップ・しゃもじ・スプーン・蒸しかごは食器洗浄乾燥機をお使いいただけます。
- 調理後のお手入れの際に本体を水につけないでください。故障の原因となります。
- 本製品は一般家庭用です。業務用または一般家庭以外での使用や取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。
- 製品を廃棄するときは、電源コードをコンセントから抜いた後、電源コードを切断するなどして動作不能な状態にしてください。
- 釜に傷をつけたり、落としたり、変形させたりしないでください。うまく炊けない原因になります。
- プッシュボタン周囲の隙間に汚れが入り込まないようにしてください。外ぶたの開閉ができなくなる原因になります。
- 釜をガス火にかけたり、電磁調理器や電子レンジなどに使用しないでください。
- 釜が変形した場合は、弊社修理センターにご相談ください。
- 炊飯中、本体にふきんなどをかけないでください。本体や外ぶたの変形・変色の原因になります。
- 予約時間は、夏場など水温が高いときは8時間以内、冬場は13時間以内を目安にしてください。腐敗するおそれがあります。
- 使用後は加熱プレートや内ぶたなどが高温になっています。

使用上のお願い (続き)

釜の取り扱いについて

<内面>

釜内面のコーティングは、ていねいに取り扱ってください。傷めると、釜からはがれやすくなります。

コーティングを傷めないために、以下のことをお守りください。

お取り扱いについて

- お米を洗う前に、米に混じっている異物（石など）を取り除いてください。
- 釜にザルなどをのせないでください。
- 洗米時、釜に強い力を加えないでください。
- 食材は釜の中で切らないでください。
- かたくとがった食品（骨付き肉など）を調理するときは、食品を釜内面に押し付けたり、強くかき混ぜたりしないでください。
- 泡だて器や金属製のざるなどを併用して洗米しないでください。
- 釜の中でご飯に酢を混ぜないでください。
- お粥を器によそうときなどに、金属製のおたまを使わないでください。
- スプーンや食器類を入れたり、しゃもじなどでたたいたりしないでください。

お手入れについて (28ページ参照)

- 食器を入れて洗わないでください。
- スポンジの柔らかい部分を使って洗ってください。たわしやスポンジのナイロン面など固いもので洗わないでください。
- 炊き込みご飯など、調味料を入れて炊飯した場合はすぐに洗ってください。

釜内面のコーティングは使用により消耗します。

はがれたり、釜に色むらがでることがありますが、使用上・衛生上の問題はありません。

<外面>

- 外面は、温度センサーや加熱プレートなどに触れる部分です。汚れや傷がつかないようにしてください。
- 熱により変色することがありますが、使用上の問題ははありません。



注意

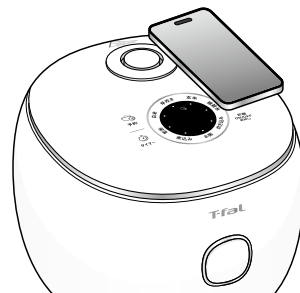
シンクやテーブルなどに釜の底面を強く押しつけないでください。

シンクやテーブルなどに傷がついたり、色が移ったりすることがあります。

NFC機能

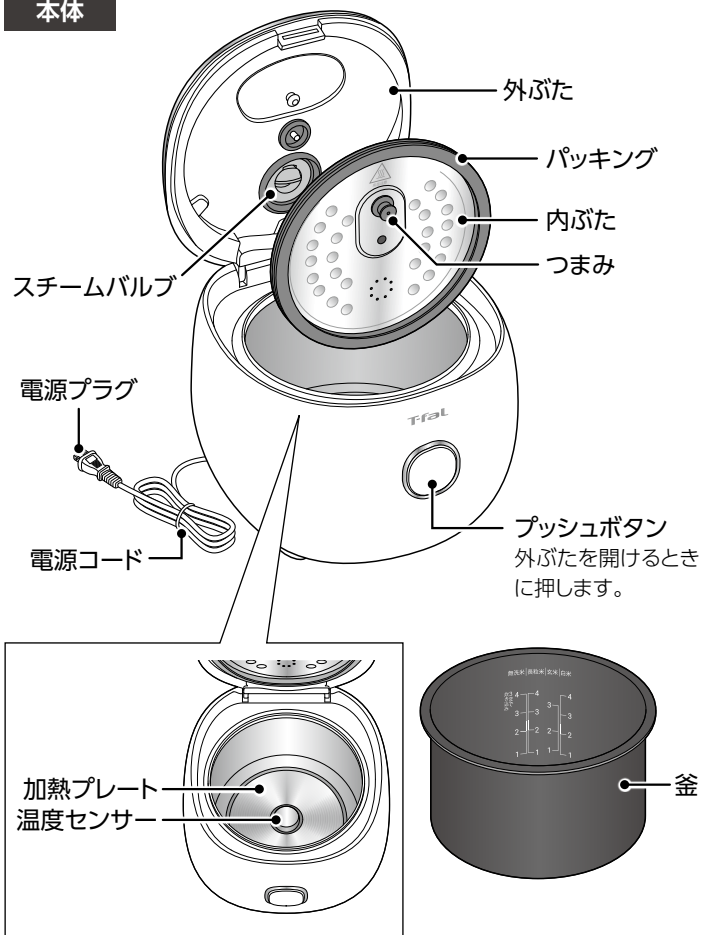
本体上面の後方にスマートフォンを近づけると、T-fal公式ウェブサイトへのリンクがスマートフォンに表示され、本製品の使用方法やレシピなどがご覧いただけます。

- 本体右上のNFCステッカーの位置にスマートフォンを1cm以内の高さでかざしてください。NFC機能は外ぶたの内部に搭載されていますので、ステッカーを外しても使用可能です。
- スマートフォンのNFC機能をオンにし、インターネット接続を有効にしてください。
- NFC機能がないスマートフォンではご利用いただけません。

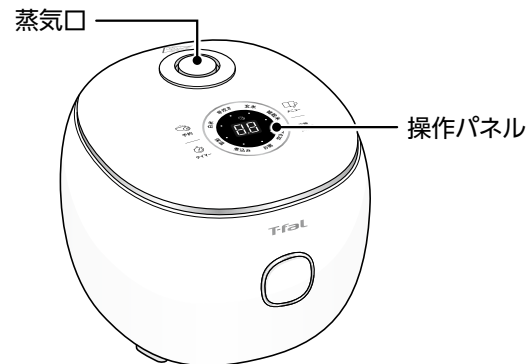


各部の名称

本体

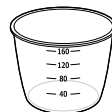


本体上面



付属品

- 炊飯用カップ×1

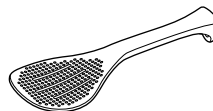


- スプーン×1



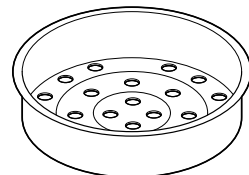
- しゃもじ×1

立ておくこともできます。



- 蒸しかご×1

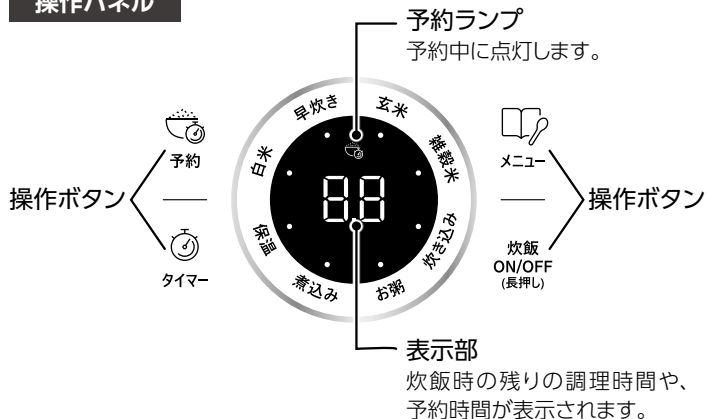
蒸し調理に使用します。



初めて使用するときは、使用前に釜、内ぶた、スチームバルブ、炊飯用カップ、しゃもじ、スプーン、蒸しかごを中性洗剤で洗ってよく乾かしてください。(お手入れ方法は28ページを参照してください)

各部の名称 (続き)

操作パネル



● 操作ボタン

予約	設定した時間に調理が完了するよう予約します。 ※予約できるプログラムは16ページをご確認ください。
タイマー	調理時間を設定します。 ※「お粥」と「煮込み」を選択したときのみ設定できます。
メニュー	プログラムを選択します。
炊飯ON/OFF (長押し)	長押しすると選択したプログラムで調理を開始します。 調理・予約・保温中に再度長押しすると、調理が中止または選択した設定が取り消されます。

● プログラム

下記のプログラムを搭載しています。それぞれの詳細は各ページをご確認ください。

炊飯プログラム	「白米」、「早炊き」、「玄米」、「雑穀米」、「炊き込み」、「お粥」
調理プログラム	「煮込み」
保温プログラム	「保温」

時間表示について

● 残りの調理時間表示、または保温時間表示の場合

1～90分までは1分単位、1.5～9.5時間までは0.5時間（30分）単位、10時間以降は1時間単位で表示されます。



● 予約設定の場合

1.0～9.5時間までは0.5時間（30分）単位、10時間以降は1時間単位で表示されます。



● タイマー設定の場合

20～55分までは5分単位、1.0～2.0時間までは0.5時間（30分）単位で表示されます。



スリープモード

調理や保温をしていないときは、5分間操作がないとスリープモードになり、画面が非表示になります。

スリープモードを解除するときは、いずれかのボタンを押します。

操作音を消す

操作パネルのランプが点灯しているときに「炊飯ON/OFF」と「タイマー」を同時に長押し（約3秒）すると、操作音がオフになります。再度「炊飯ON/OFF」と「タイマー」を同時に長押し（約3秒）すると、操作音がオンに戻ります。

※ 操作音がオフの場合でも、炊き上がり時は音が鳴ります。

炊飯プログラムについて

プログラム	釜の水位 目盛	炊飯 容量	炊飯時間の 目安	予約	保温
白米	白米	1 ～ 4合	約46-58分	1 ～ 24時間	12時間
	無洗米		約47-56分		
早炊き	早炊き (白米炊飯時)	1 ～ 4合	約38-51分	不可	
	無洗米		約36-49分		
	長粒米		約37-49分		
玄米	玄米	1 ～ 3合	約79-86分	1.5 ～ 24時間	
雑穀米	雑穀米	1 ～ 3合	約57-63分	1.5 ～ 24時間	
炊き込み	炊き込み	1 ～ 3合	約68-77分	不可	
お粥	全粥	0.25 ～ 0.5合	1、1.5、 2時間から 選択可能。	1.5 ～ 24時間	
	半粥	0.25 ～ 0.5合			

- 「白米」「早炊き」以外を炊飯した場合は、炊飯後は早めにお召し上がりください。
- お粥は全粥・半粥の2種類を作ることができます。

炊き込みご飯を作るときは

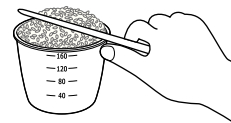
- 水加減は、具材を入れる前に調整してください。
 - 具材の量は、お米1カップに対して75g以下にしてください。
具材が多すぎるとうまく炊けないことがあります。
 - 具材は小さめに切って、釜に入れたお米の上にのせてください。
具材とお米を混ぜ合わせないでください。(使用する炊き込みご飯の素に作り方が書いてある場合は、それに従ってください)
 - 材料を釜に入れたら、すぐに炊飯を開始してください。
時間が経つと調味料が沈殿して、うまく炊けないことがあります。
 - 炊飯中に外ぶたを開けて、具材を足さないでください。
- ※ 炊飯後は早めにお召し上がりください。

ご飯を炊く

炊飯準備 おいしくご飯を炊くコツ

正しくお米を量る

付属の炊飯用カップを使って、すりきりで、お米を量ってください。
計量米びつなどを使うと、誤差が出ることがあります。



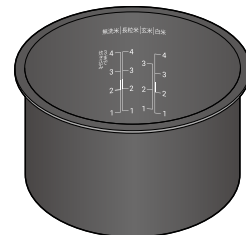
お米を洗う

はじめはたっぷりの水で、さっとかき混ぜ、手早くすすぎ、水はすぐに捨てる（なるべく冷たい水で、お米が吸水しないように手早く洗います）。

- お湯（約35度以上）で洗米や水加減をしないでください。
ご飯がうまく炊けない原因になります。

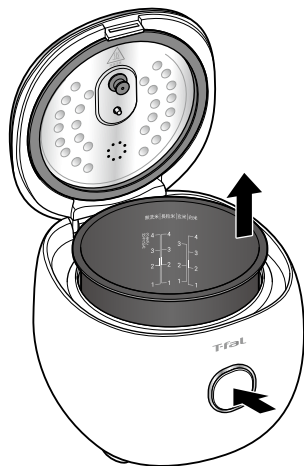
正しく水加減をする

釜の内側の水位目盛に合わせて水を入れます。
水位目盛は目安ですので、好みやお米の種類などによって水加減を調整してください。



ご飯を炊く (続き)

- 1** プッシュボタンを押して外ぶたを開け、釜を取り出します。



- 2** お米と水を釜に入れます。

先に釜にお米を入れてから、お米の合数と調理方法に合わせて水を入れます。

- お米は付属の炊飯用カップで量ってください。
釜の水位目盛は、付属の炊飯用カップで量ったお米に対しての水の量の目安です。
- 水や米は長粒米の4合線を超えて入れないでください。

お粥を作る場合

お釜に記載されている水位線は、白米の場合の推奨水位です。玄米粥・雑穀粥は下記を参考にしてください。

	0.25合	0.5合
玄米粥	200ml	400ml
雑穀粥	350ml	700ml

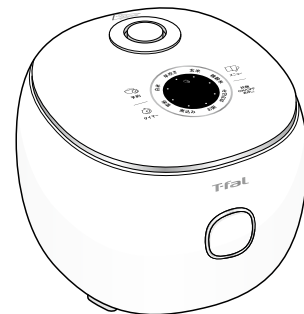
※ 雑穀粥は、白米0.5合に対して雑穀大さじ1が目安量です。ご使用の雑穀に合わせて、水、または雑穀の量を調整ください。

- 3** 釜を本体にセットします。

- 温度センサーや加熱プレートにご飯つぶなどの異物や汚れがないか確認してから本体にセットします。
- 釜の外側に、異物や汚れ、水滴等の水分がついている場合は、拭き取ってからセットしてください。
- 外ぶたは閉める前に必ず乾いていることを確認してから閉めてください。

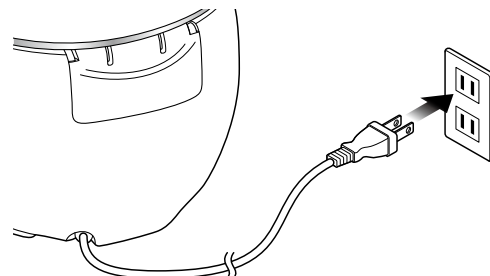
- 4** 外ぶたを閉めます。

外ぶたに内ぶたとスチームバルブが取り付けられていることを確認してください。



- 5** 電源コードをコンセントに接続します。

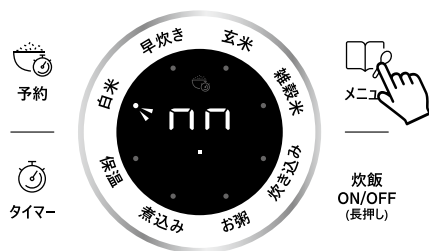
ブザー音が鳴り、表示部にスマイルマークが表示されます。



ご飯を炊く (続き)

6 「メニュー」を押して、炊飯プログラムを選択します。

選択中のプログラムのランプが点滅します。



お粥を作る場合

「タイマー」を押して調理時間を選択してください。調理時間は1時間、1.5時間、2時間から選べます。以下を目安にしてください。

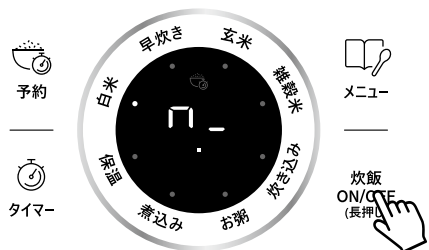
1時間	白米を使用した普通のやわらかさのお粥
1.5時間	玄米や雑穀米などを使用したお粥
2時間	火が通るのに時間がかかる具材を使用したお粥

※ ティファール公式サイトに、具材を使用したお粥レシピ等を掲載していますので参照ください。

7 「炊飯ON/OFF」を長押しして、炊飯を開始します。

表示部にウィンクマークが表示されたあと、選択した炊飯プログラムのランプが点灯し、加熱が始まります。

- 調理を途中で中止する場合は、「炊飯ON/OFF」を長押ししてください。



注意

炊飯中は蒸気口から熱い蒸気が出ます。
蒸気口の上に手や顔などを近づけないでください。

ブザーが鳴ったら炊きあがりです。

- 炊きあがったら、すぐにご飯をほぐし、余分な水分を逃します。
- 炊きあがったら自動的に保温プログラムになります。
保温中は、「保温」ランプが点灯し、画面には保温の経過時間が表示されます。
- 保温開始後、12時間が経過すると、自動的に保温が終了します。
- 風味を保つため、保温は6時間以内を目安にしてください。



注意

- 外ぶたを開けるときは熱い蒸気が出ますので、注意してください。
- 外ぶたを開けた後、湯滴が垂れてやけどする危険がありますので、ご注意ください。

8 12時間が経過する前に保温を終了したい場合は、「炊飯ON/OFF」を長押しして、保温を終了します。

「煮込み」プログラムについて

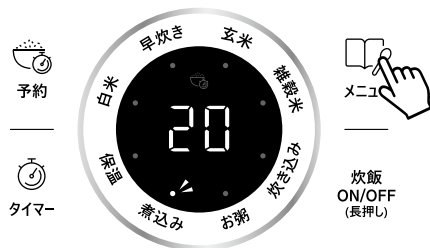
スープやカレーなど、煮込み料理を作るプログラムです。T-fal 公式ウェブサイトにレシピを載せていますので、ご参照ください。スマートフォンを本体に近づけることで、簡単に公式ウェブサイトへアクセスできます。(詳細は11ページを参照ください。)

1 材料を入れた釜を本体にセットして、外ぶたを閉めます。

最大調理量：1.5L

2 電源コードをコンセントに接続します。

3 「メニュー」を押して「煮込み」を選択します。



4 「タイマー」を押して、調理時間を設定します。

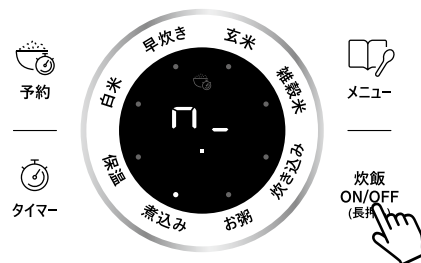
「タイマー」を押すごとに設定時間が変更できます。



- 20分～55分までは5分単位、1時間～2時間までは0.5時間単位で設定可能です。

5 「炊飯ON/OFF」を長押しして、調理を開始します。

表示部にウィンクマークが表示されたあと、選択した煮込みプログラムのランプが点灯し、加熱が始まります。



- 調理を途中で中止する場合は、「炊飯ON/OFF」を長押ししてください。

ブザーが鳴ったら調理完了です。

- 調理が完了したら自動的に保温プログラムになります。
- 保温開始後、12時間が経過すると、自動的に保温が終了します。

6 12時間が経過する前に保温を終了したい場合は「炊飯ON/OFF」を長押しして、保温を終了します。

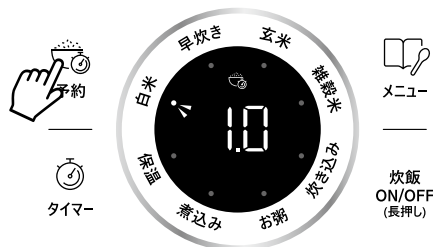
予約して炊飯する

予約した時間に、自動的に調理を完了します。

「早炊き」「炊き込み」「煮込み」「保温」を選択した場合は、予約できません。

- 1 材料を入れた釜を本体にセットして、外ぶたを閉めます。
- 2 電源コードをコンセントに接続します。
- 3 「メニュー」を押してプログラムを選択します。
- 4 「予約」を押して、予約時間を設定します。

「予約」を押すごとに設定時間の変更できます。



- 何時間後に調理を完了させるかを設定します。
(例：現在時刻が12:00で18:00に調理が完了するように予約する場合は、「6.0」に設定します)
- 時間は「時」で設定します (1～9.5時間までは0.5時間刻み、10時間以上は1時間刻みで表示されます)。
- 設定可能な予約時間は、選択したプログラムによって異なります (16ページ)。
- 調理に必要な時間より短い予約時間を設定することはできません。
- お粥に具材を入れる場合は予約はしないでください。腐敗するおそれがあります。

5 「炊飯ON/OFF」を長押しして予約を開始します。

表示部にウインクマークが表示されたあと、予約ランプと選択した炊飯プログラムのランプが点灯し、調理完了までの目安時間が表示されます。



- 予約機能を使って炊飯すると、お米が余分な水分を吸収して、よりやわらかく炊きあがります。
- 浸水すると、お米のでんぷんが溶けて底に沈み、底の方のお米が少し黄色くなることがあります。
- 予約をキャンセルする場合は、再度「炊飯ON/OFF」を長押しします。

予約時間について

予約時間は、夏場など水温が高いときは8時間以内、冬場は13時間以内を目安にしてください。

腐敗するおそれがあります。

お願い 具材や調味料を加えた状態で予約はしないでください。具材が腐敗したり、調味料が沈殿してうまく炊けないことがあります。

- ※ 予約炊飯をすると、ご飯がやわらかくなったり、ぬかが底にたまって焦げたりすることがあります。
- ※ 室温または水温が低いときや電圧・水加減によっては予約した時刻に炊きあがらないことがあります。

「保温」プログラムについて

1 「メニュー」を押して「保温」を選択します。



2 「炊飯ON/OFF」を長押しして、保温を開始します。

- 表示部にウィンクマークが表示されたあと、保温プログラムのランプが点灯し、保温が始まります。
- 調理を途中で中止する場合は、「炊飯ON/OFF」を長押ししてください。
- 保温開始後、12時間が経過すると、自動的に保温が終了します。
- 風味を保つため、保温は6時間以内を目安にしてください。
- 保温時間は設定できません。

保温のコツ

釜の中でご飯を保存する場合は、必ず保温機能を使用してください。

電源プラグをコンセントから抜いた状態、または保温を終了した状態で、釜の中でご飯を保存しないでください。ご飯ににおいがついたり、べたつく原因になります。

ご飯の乾燥・べたつき・におい・変色を防ぐために、以下のよう保温はしないでください。

- 少量で長時間保温しない
- ご飯をつぎたさない
- 冷めたご飯を再度保温しない
- ご飯以外の調理物を保温しない
- しゃもじを入れたまま保温しない
- お粥を保温しない
- 炊き込みなど、調味料やご飯以外の食材を含むときは保温しない

少量のご飯を保温するときは、釜の中央に盛ってください。

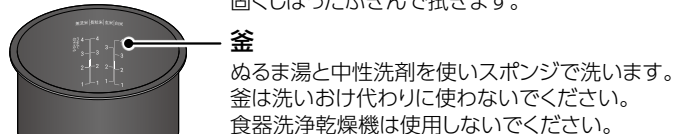
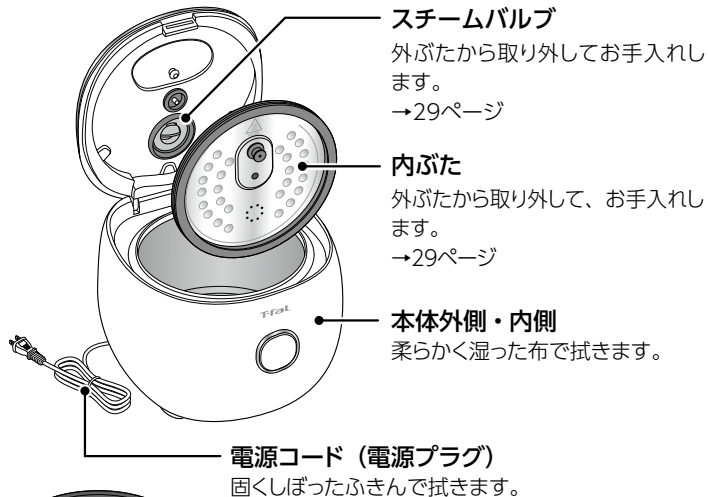
少量のご飯を保温すると、乾燥したり、べたつきやすくなります。釜の中央に盛って保温してください。

使用後のお手入れ

使うたびに

使用後は電源プラグをコンセントから抜き、外ぶたを開けて冷ましてください。

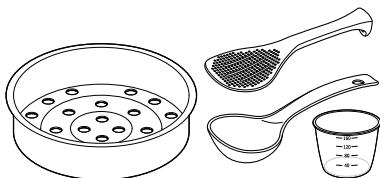
冷ました後、以下のお手入れをしてください。



炊飯用カップ・しゃもじ・
スプーン・蒸しかご

ぬるま湯と中性洗剤を使いスポンジで洗います。

食器洗浄乾燥機で洗浄できます。

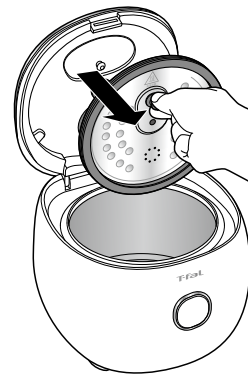


お願い

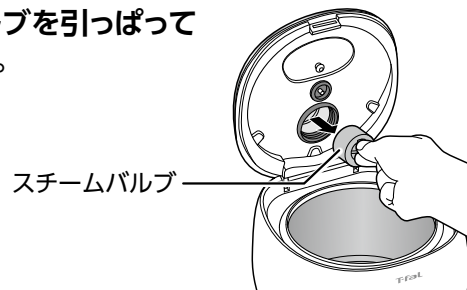
- 本体を液体に浸さないでください。
- 金属製タワシ、研磨剤の入った洗剤・スポンジ等は、釜の内側のコーティング面を傷つけるので使用しないでください。また、こげつき等を落とす際は、金属製のかたいものを使用しないでください。
- ベンジン、シンナー、漂白剤、除菌アルコールなどは使用しないでください。

内ぶたのお手入れ

1 内ぶたのつまみを引っぱって、
内ぶたを取り外します。



2 スチームバルブを引っぱって
取り外します。



使用後のお手入れ (続き)

3 めるま湯と中性洗剤を使い、スポンジで洗います。

- 食器洗浄乾燥機で洗浄できます。
- 内ぶたのパッキングとつまみは取り外して洗うことができます。
- 洗浄後は水気を拭き取り、乾燥させてください。

パッキングの取り外し／取り付け方法

<取り外し方法>

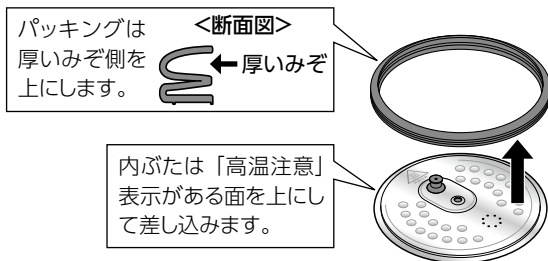
内ぶたから引っぱって取り外します。



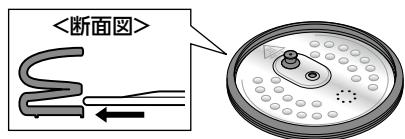
<取り付け方法>

取り外しと逆の方法で取り付けます。

① パッキングに内ぶたを差し込みます。



② 内ぶたをパッキングの薄みぞ側にはめ込みます。



内ぶたのつまみの取り外し／取り付け方法

<取り外し方法>

内ぶたから引っぱって取り外します。



<取り付け方法>

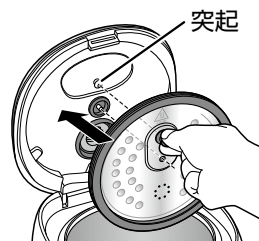
内ぶたの裏側からつまみを差し込み、つまみの突起が表側に出るように取り付けてください。

※「高温注意」の表示がある方が表側です。

4 スチームバルブを元の位置に取り付けます。

5 内ぶたを元の位置に差し込みます。

「高温注意」と書かれた面を手前にしてつまみを外ぶたの突起に差し込みます。



こんなときは

■ 炊飯中に蒸気が漏れている

考えられる原因	対処方法
外ぶたが確実に閉まっていない。	外ぶたを一度開けてから、確実に閉め直してください。
スチームバルブが正しく取り付けられていない。	使用を中止して本体が冷めてから、スチームバルブが正しく取り付けられているか確認してください。(→31ページ参照)
パッキングが破損している。	使用を中止し、修理センターへご連絡ください。

こんなときは (続き)

■ うまく炊飯できない

考えられる原因	対処方法
お米と水の比率が間違っている。	付属の炊飯用カップで量ったお米を釜に入れてから、水を入れてください。 水の量は釜の水位目盛を目安にして、お米の合数と調理方法に合わせてください。

■ 画面表示が消灯していて、炊飯できない

考えられる原因	対処方法
電源コードが接続されていない。	電源コードをコンセントに接続してください。

■ 炊飯できるが、画面表示が消灯している

考えられる原因	対処方法
操作パネル部が破損しているか、接続エラーが起きている。	使用を中止し、修理センターへご連絡ください。

■ 表示部にエラーコードが表示される

画面表示	考えられる原因	対処方法
E0 E1	故障している。	使用を中止し、修理センターへご連絡ください。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

製品仕様

ティファール ザ・ポップ マイコン式炊飯器

定格電圧／周波数	100V 50/60Hz
定格消費電力	350W
本体重量	2.1kg
電源コードの長さ	約1m
サイズ (本体のみ)	248 × 226 × 202 mm
付属品	炊飯用カップ、しゃもじ、スプーン、蒸しかご

※ 仕様、デザイン、価格等は変更になることがありますのでご了承ください。

※ 本製品は日本国内のみで使用できます。

※ 標高の高い場所、厳寒地などでは所定の性能が発揮できなかったり、吹きこぼれることがあります。こうした場所での使用はなるべく避けてください。

Made in China

<家庭用品品質表示法に基づく表示>

最大炊飯容量	0.72L
区分名	E
蒸発水量 ^{※1}	11.9g
年間消費電力量 ^{※2※3}	33.9kWh / 年
1回当たりの炊飯時消費電力量 ^{※3}	94.3Wh
1時間当たりの保温時消費電力量 ^{※4}	6.6Wh
1時間当たりのタイマー予約時消費電力量	0.13Wh
1時間当たりの待機時消費電力量	0.13Wh

※1 1回あたりの炊飯時に炊飯機器体外へ放出した水の質量であり、省エネ法の目標基準値を算出するために用いる数値です。

※2 省エネ法・特定機器「電気ジャー炊飯器」測定法による数値です。区分名も同法に基づいています。

※3 「早炊き」プログラムでの電力量です。

※4 工場出荷時 (お買い上げ時) での保温設定の電力量です。

● 実際にお使いになるときの消費電力量は、使用頻度、使用時間、お米の量、炊き方、周囲の温度などによって変化しますので、あくまでも目安としてご覧ください。